

喜びに包まれている私

持田 恵

街路樹を歩く私

生暖かい風が「ピュウー」と吹き抜ける度に

舞う枯れ落ち葉達

何かを表現することの狂いを演じているかのよう

道端に腰かけ絵具で人の似顔絵を売る老人

立ち寄る人達の心の中を

絵に映し出しているかのよう

何かを表現することの狂いを身に纏う私

その老人の狂いを体感したくて

そっと老人の目の前に腰かける

私の瞳の中を覗き込む老人

老人の瞳の中を穏やかに落ち着いて見つめる私

生暖かい風に舞い狂う落ち葉の中

老人と私の狂気は「ピュウー」の音階と共に咲き乱れる

老人の心は狂い咲いている

私の心は狂い咲いている

情景は狂い乱れている

ゆっくりと進む描写の中

居心地の良い私は

時よ

もっと、ゆるりと流れよと

風が心なしか穏やかになったよう

時間の流れが心なしか遅れがちになったかのよう

喜びに包まれている私